

美術博物館の催し

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432

■ 展覧会《コレクション版画展「菅井汲/松谷武判—print works」》
■ 会期 5月18日～6月30日
■ 会場 ホール・第1展示室・第2展示室
■ 内容 芦屋ゆかりの画家・菅井汲と元具体美術協会の松谷武判は、それぞれ1950年代、60年代にフランスへ渡り多くの版画作品を制作します。日本人としての彼らがフランスで生み出した作品とは、当館のコレクション作品を中心に彼らの作品の魅力に迫ります。

■ 展覧会《芦屋の歴史と文化財》
■ 会期 5月18日～12月23日
■ 会場 歴史資料展示室
■ 内容 芦屋の歴史を縄文時代から昭和の時代に至るまでご紹介いたします。考古学の発掘成果から知られる人々の生活や、和歌にたびたび登場する歴史、高級住宅地として発達するモダニズム、海と山に挟まれた芦屋ならではの文化にご注目ください。とくに、平成24年4月1日に文化財として指定された芦屋川の文化的景観、多くの人に愛されてきた風光明媚、めいびな土地柄が育んだ芦屋の歴史に触れていただければ幸いです。
 また、平成25年5月1日に市指定文化財に指定された寺田遺跡出土黄釉鉄絵陶器盤も展示します。

■ コレクション版画展
「菅井汲/松谷武判—print works」関連イベント
 松谷武判performance「流動—Ashiya」
■ 日時 5月26日(日)午後2時～
■ 会場 エントランスホール
■ 参加費 要観覧料

《観覧料》
 一般300(240)円・大高生200(160)円・中学生以下無料
 ※()内は20人以上の団体料金※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちのかたならびにその介護のかたは各当日料金の半額※同時開催中の展覧会は両方ご覧いただけます。

谷崎潤一郎記念館の催し

問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852

【特別企画】 谷崎潤一郎邸めぐり
■ 日時 5月10日(金) 京都 5月25日(土) 芦屋・神戸 5月31日(金) 京都 6月8日(土) 芦屋・神戸
■ 内容 谷崎潤一郎の旧住居である京都「蕩漫亭」と神戸「倚松庵」を2日間に分けて訪ね、谷崎の文学世界を追体験する現地講座です。1日目の京都では下鴨茶寮、2日目の神戸ではフレンチレストランで昼食を味わいます。■定員 48人 ■講師 当館学芸員 ■受講料 2回で12,800円(食事代含む。交通費は自己負担) ■申し込み 上記へ

【谷崎館講座】 仏画講座
■ 日時 5月11日～(毎月第2土曜日) 午前10時30分～午後0時30分 ■会場 講義室 ■内容 お手本をなぞって色紙に彩色する易しい作業から始めます。穏やかで慈悲あふれる仏さまを描けるよう、ていねいに指導します。■定員 10人 ■講師 阿藤無華氏 ■受講料 3回分ごとのお支払い 3回分8,400円/教材費別途(各回500～1,000円程度) ■申し込み 上記へ

【谷崎館講座】 フランスのクロスステッチ刺しゅう
■ 日時 5月21日～(毎月第3火曜日) 午後2時～4時 ■会場 講義室 ■内容 クロスステッチの基本からていねいにお教えます。なごやかな雰囲気の中でお茶をいただきながら、お部屋を飾るすてきな作品、ちょっとしたプレゼントに喜ばれる作品を作ります。■定員 10人 ■講師 刺しゅうカフェ主宰刺しゅう作家・なかじまみか氏 ■受講料 3回分ごとのお支払い 3回分5,400円/教材費別途(3回分6,000円) ■申し込み 上記へ

【谷崎館講座】 初歩からの朗読講座
■ 日時 6月6日～(毎月第1木曜日) 午前10時～11時30分 ■会場 講義室 ■内容 少人数で楽しみながら朗読を学びます。発声法から始める初心者向け講座。■定員 10人 ■講師 朗読グループRSTメンバー・加藤順子氏(朗読グループRSTとは、朝日放送で共に仕事した元アナウンサー、元放送劇団の有志が集まって活動している朗読研究会のグループです) ■受講料 3回分ごとのお支払い 3回分5,400円 ■申し込み 上記へ

※5月5日(日)・6日(月)両日の午後1時30分～3時は、ロビーギャラリーにてイベント「朗読シアター」開催のため、猫の墨絵展はご覧いただけません。
《観覧料》300円(特別展期間中400円) 《開館時間》午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
 (5月の休館日)7日(火)・13日(月)・20日(月)・27日～31日は展示入れ替えのため休館

小学校外国語活動・中学校英語の授業で児童生徒と交流できる外国人ボランティア募集

市教育委員会では、子どもたちが英語を使った多様な場面でのコミュニケーションを体験できるよう、交流いただける外国人ボランティアのかたを募集しています。個人でもグループでもお気軽にご連絡下さい。
■ 交流先 市内小中学校のいずれか可能な学校 **■ 期日** 学校と応募者で都合のよい日を相談 **■ 対象** 小学校5年生以上(1回あたり3～7学級と交流) **■ 内容** 英語を使った児童生徒との交流や自国文化の紹介(詳細は教員と事前打合せ) **資格** 無償・英語が母語でないかたも可

問い合わせ 学校教育課 ☎38-2087

5月前半	GATV 広報(番組)ガイド	放送時間(15分)
	芦屋市広報番組 あしやトライ あんぐる	
オープニング	花水木通り	9:00
トピックス	芦屋病院マチネコンサート もくもく離乳食教室	12:00 15:00
特集	公光分庁舎 北館 オープン 「あしや市民活動センター リードあしや」	18:00
お知らせ	「芦屋川の歴史」を発刊しました	22:30
エンディング	芦屋散歩	※DVD 貸出可
■ 広報番組「あしやトライ あんぐる」は、11ch(一部地域を除く)でご覧ください。 ※5月11日(土)③15時は16時30分に放送時間変更/5月12日(日)③15時④18時は放送休止 ■ 番組に関する問い合わせ 広報国際交流課 ☎38-2006 ■ GATV全般に関する問い合わせ J:COM神戸芦屋カスタマーセンター ☎0120-999-000		

「芦屋川の歴史」を発刊しました



本市では、平成24年4月1日に「芦屋川の文化的景観」を市指定文化財に指定しました。芦屋川には長い歴史があり、川に沿って数多くの歴史文化遺産がありますが、このたびそれらをまとめました。
 芦屋川を散策する際のガイドブックや芦屋川を学習する際の教材としても役立つ内容です。ぜひ、ご利用ください。
 ご希望のかたに市役所北館4階生涯学習課で配布しています。(先着順で1人1冊)

問い合わせ 生涯学習課 ☎38-2115

菊づくり講習会

菊づくりの楽しさを、ご一緒に味わってみませんか。奮ってご参加ください。
 参加者には、菊苗を差し上げます。



■ 日時 5月25日(土) 午後1時30分～3時
■ 会場 経済課・消費生活センター 2階会議室
■ 申し込み 5月1日(水) 午前9時より電話で下記へ

問い合わせ 芦屋菊花会事務局 ☎38-2033(経済課内)

あしや消費生活フェア

～親子で遊ぼう たのしい一日はかって つくって お買い物～

■ 日時 5月25日(土) 午前10時～午後3時
■ 会場 男女共同参画センター 1階セミナー室・保育室
■ 内容 「親子で食育のおべんきょう」 午前10時30分 午後1時30分 かみしばいもあり

〈お楽しみコーナー〉
 重さあてクイズ(びたり100g 当てよう わずかな差の場合、粗品進呈)
 計量クイズ(上手なお買い物 パルーンアート(みんなで作ろう) さかな釣り など

問い合わせ 経済課 ☎38-2179

消費生活センター講座

「投資詐欺と金融商品を選ぶポイント」
 “必ず儲かる”
 その金融商品ホントに大丈夫?

■ 日時 5月30日(木) 午前10時～11時30分
■ 会場 浜風集会所 洋室D
■ 申し込み 5月24日(金)までに下記へ



問い合わせ 消費生活センター ☎38-2179

人権相談

いじめ・いやがらせ、名誉棄損、信用問題その他人権に関することでお困りのかたは、人権相談をご利用ください。

■ 日時 5月14日・28日(火) 午後1時～4時 (当日午前中まで電話で予約受け付け) 1人1時間

■ 会場 市役所北館2階第2会議室
■ 内容 人権に関する相談に人権擁護委員が応じます。秘密厳守
■ 申し込み 下記へ

問い合わせ 人権推進課 ☎38-2055

記念講演会

「私たちはどんな社会をめざすのか」
 ～一人称で考える差別問題～

■ 日時 5月23日(木) 午後3時45分～5時
■ 会場 市民センター 401室
■ 講師 角岡伸彦氏 「被差別部落の青春」などの著書があり、フリーライターとして活躍中
■ 申し込み 直接会場へ 託児あり (保険料250円・5月17日までに要予約) 手話通訳・要約筆記有り



問い合わせ 芦屋市人権教育推進協議会 ☎38-2091(生涯学習課内)

春の大園遊会2013開催

■ 日時 5月19日(日) 午前10時～午後4時
■ 内容 フリーマーケット/防災防犯の展示・体験コーナー/花苗交換・販売/ステージ/飲食あり/ポニー体験乗馬(1回300円)
【フリーマーケット出店募集】 楽市楽座(フリーマーケット・1区画3,000円)は、申込用紙をファクスで請求し5月5日(日)までに下記へ 必着



問い合わせ 総合公園管理事務所 ☎38-2103/FAX25-2026 info@ashiyaishisogokoen.com

人権特集



プロフィール



岡部 一明(おかべ かずあき)氏
 移民問題研究者。1950年栃木県生まれ。カリフォルニア大学バークレー校卒。在米ジャーナリストなどを経て2001年より愛知東邦大学経営学部准教授、教授を歴任。この3月に退職。著書に「多民族社会の到来」(御茶の水書房)、「日系アメリカ人 強制収容から戦後補償へ」(岩波書店)ほかがある。

「外国人が日本人の数を超えるなどの事態は想像できるでしょうか。米国などは国家の人種構成が変わるくらいのことです。」
 「外国人が日本人の数を超えるなどの事態は想像できるでしょうか。米国などは国家の人種構成が変わるくらいのことです。」
 「外国人が日本人の数を超えるなどの事態は想像できるでしょうか。米国などは国家の人種構成が変わるくらいのことです。」

憲法週間 5月1日▶7日

問い合わせ 人権推進課 ☎38-2055

5月3日は憲法記念日です。毎年、5月1日から7日の一週間を「憲法週間」として、関係機関の協力を得て国や地方行政機関では、憲法の精神を国民に理解してもらうための取り組みを行っています。この機会に基本的人権の尊重を定めた日本国憲法の意義を再認識し、身近な人権問題について考えてみましょう。

国際交流から多文化共生へ
 今から四十年前近く前、最初に米国サンフランシスコに着いた時、街を歩いてアメリカ人(白人)に道を聞かれびっくりしました。来たばかりの外国人によく道を聞くなあと。
 でも、無理のないことでした。サンフランシスコは当時からアジア系が人口の約二割、現在三割です。私と同じような顔の人が多いのが街の第一印象でしたが、私もたちどころに住民に見られ道を聞かれたのです。
 サンフランシスコはアジア系ですが、ほかの米都市でも黒人、中南米系などマジョリティー(少数者少数民族)が増え、道を聞かれたのです。

伝統的白人人口を上回ってきました。カリフォルニアなど十州は州全体でマイノリティーが半数を超えています。米国全体で白人人口は現在63%、これが今世紀半ばには半数を切るといわれます。
 ヨーロッパでもパリ、ロンドンなど大都市に行くくと、多様な人種民族の人たちがモザイク状になっているのに気づくでしょう。アジアでもシンガポール、香港などグローバル都市と言われる大都市は似た状況です。
 日本にも外国人の姿が増えてきました。外国人住民は約二百万人。しかし、外国人が日本人の数を超えるなどの事態は想像できるでしょうか。米国などは国家の人種構成が変わるくらいのことです。

人類史の実験が進行しているということ。多文化共生とは、さて現在「多文化共生」という理念が語られていて、昔は国際交流、国際関係などという言葉が中心に、外国人集住都市会議なども開かれていました。
 「多文化共生は英語のマルチカルチャリズム、多文化主義が原義。一九六〇年代に米国で黒人などの公民権運動が活発化し、差別禁止法平等な移民受け入れ、少数言語による教育などが導入された。その中で生まれたのがマルチカルチャリズム理念です。」

わすか百五十年前、坂本龍馬の時代には藩と藩が対立し脱藩は死罪とされたのです。
 米国もヨーロッパも確かに多文化共生は実現しておらず問題が山積しています。しかし、困難の中で確実に多文化共生の成果が出ているのも事実です。例えば米IT産業の中心シリコンバレー(サンフランシスコの南一帯)、活発な起業家経済で米国をけん引するこの地域で、実は新企業の44%はアジア系など移民によるものです。同地域の技術者数でも半分は移民。シリコンバレーに多いヒンズー教寺院を取材したのが強烈な印象でした。多文化共生は多様な人たちが刺激しあい、地域社会に活力を与えます。黒船から戦後民主主義まで、異文化を拒否せず自分たちの改革に積極的に生かす社会こそが発展してきたのです。



芦屋市の人権推進シンボルマーク「多文化共生」という理念が語られていて、昔は国際交流、国際関係などという言葉が中心に、外国人集住都市会議なども開かれていました。

私たちは地域生活の中で異なる文化をもつた人々と仲良く暮らしていきたいです。ただし、米国でもマイノリティーが少ない地方部に行くとも、国際交流、国際理解のスタートガンは聞きません。

私たちは地域生活の中で異なる文化をもつた人々と仲良く暮らしていきたいです。ただし、米国でもマイノリティーが少ない地方部に行くとも、国際交流、国際理解のスタートガンは聞きません。

市ホームページ・パナー広告募集

■掲載ページ 本市ホームページのトップページ ■広告の内容 市の広報媒体としての品位・公共性・公益性を妨げないもので、市民に不利益を与えないもの ■規格 縦60ピクセル×横100ピクセル(GIF形式) 4ロバイト以内 ■広告料 1枠・月額15,000円(掲載期間1カ月単位) ■広告料の納付 市指定の納付書で納付 ■申し込み 「市ホームページ広告掲載申込書」に広告案を添えて、下記へ。詳細については市ホームページのトップページ「広告について」をご覧ください。

問い合わせ 広報国際交流課 ☎38-2006/HPhttp://www.city.ashiya.lg.jp/

芦屋病院公開講座

■ 日時 5月11日(土) 午後2時～3時30分
■ 会場 市民センター 401室
■ 内容 専門・認定看護師の役割 がん患者さんとその家族に知っておいて欲しいこと その人らしさを支える緩和ケア その人らしい生活を送るために～病院と地域の連携を通して がん看護専門看護師・宮武佳菜枝氏 緩和ケア認定看護師・榮元由香氏 訪問看護認定看護師・陰山美穂子氏
■ 費用 200円
■ 申し込み 直接会場へ



問い合わせ 公民館 ☎35-0700

第25回 上宮川ワンコインシアター 世界の名作を!

スミス都へ行く



■ 日時 5月18日(土) 午前10時～午後2時 (各回30分前より開場)
■ 会場 上宮川文化センター 3階ホール
■ 参加費 中学生以上500円(当日券のみ) 満席の場合は入場を制限することがあります。

古き良きアメリカの正義と理想
 監督:フランク・キャブラ (1939年・アメリカ・モノクロ・129分)

問い合わせ 上宮川文化センター ☎22-9229